

美浜発電所 WANOピアレビューの概要

1. 日程

平成25年1月17日～2月1日(うち12日間)

2. 対象

美浜発電所1～3号機(すべて定期検査中)

3. 目的

世界各国の専門家からなる専門チームが、「運転」「保守」「放射線防護」等の分野について、現場作業の観察やインタビューなどを通じ、他の発電所の参考となるような取組みや、世界の最高水準と比較して更に改善できる場所について事業者と議論を交わすことで、原子力発電所の安全性や信頼性をより向上させることを目的としている。

4. ピアレビュー実施者

世界の原子力発電事業者20名
(台湾、仏国、ハンガリー、韓国、日本)

5. 実施状況

○インタビュー



○現場観察



○現場観察



○会議



WANOピアレビュー結果(概要)

○美浜発電所における多くの活動や取組みは日常的によくできていると考えられる。いくつかの提言できる点はあるが、発電所の従業員は、ほとんどの領域で適切な安全最優先を意識した行動を実行している。

○特筆すべき強みとして、

- ・福島第一原子力発電所事故を踏まえ、水密化対策、電源確保、冷却機能確保等の設備対策、および対応訓練がすでに実行されており、さらに発電所独自の追加対策を実施し、津波に対する深層防護の観点で強化が図られていること、
 - ・3号機二次系配管破損事故、2号機蒸気発生器細管破断事故について、常に教訓を学ぶ姿勢、
 - ・協力会社との対話や情報共有によるコミュニケーション努力で、良好な関係が構築されていること、
- などが挙げられた。

○提言として、

- ・「異物混入の可能性の最小化」、「労働安全」、「運転経験の活用」などに関して、さらなる充実のため、原子力産業界のベストスタンダードを効果的に活用するのがよいということが挙げられた。